

## 2. <水球陣>関東学生リーグ第2戦

### H25.5.26 対成城大 @専修大学生田プール

東大 5 1 5 6 計17

成城大 3 3 2 2 計10

得点者：桐生（1）、横山（2）、浪間（5）、池亀（5）、梶原（2）、藤目（2）

主将の大脇がおらず、代わりに梶原が当日入部したこの試合。今までとは異なるメンバーで試合に挑むこととなるわけだが、落ち着いてしっかりと勝利したい。

#### 第1ピリオド

センターボールを取ったのは成城大学。その攻撃を守った後最初のオフenseで浪間が退水を誘発するも得点は決まらない。そして次のオフenseで池亀がフローティングで先制点を決める。次のディフェンス開始早々に浪間がアンダーウォーターを取りマイボールにすると、再び浪間が退水を誘発し、これを池亀が決める。その後カウンターにより成城が1点取るが東大もカウンターで桐生が決める。さらに成城のディフェンスが中に下がったところを藤目が決める。成城も5mシュートで1点返すものの藤目が退水を誘発し浪間がこれを決める。ラスト8秒で成城がカウンターを決め、第1ピリオドは2点差に終わる。

#### 第2ピリオド

センターボールは成城。第2ピリオド、成城は一年生をフリーにして浪間にダブルマークする。一年生がシュートを放つも、すべてキーパーに止められる。その間に成城3番4番が得点し、同点に追いつかれる。東大もキーパーから一投目を貰った浪間が回しこんでそのままシュートを決めるが、池亀が退水しさらにはプレーに参加したとみなされ5mペナルティーが成城に与えられる。これをしっかりと3番が決め2ピリオド終わった時点で合計は同点となる。

#### 第3ピリオド

センターボールは成城がとるもプレーしなかったため東大ボールからスタート。東大は第3ピリオドから試合当日に入部した梶原健太を投入する。それに伴い第2ピリオドで一年生のいたポジションに横山が入るがあくまでも成城はC0°をフリーにして浪間に下がるデ

ディフェンスを敢行。横山がまず 1 点決める。藤目が退水するが、これは守りきる。その後藤目がディフェンスの下がったところで決める。成城もミドルシュートで一点決めるが、東大も池亀がバックシュートを決める。さらに浪間が退水を誘発しすぐにリターンで浪間が得点。その後横山がハンツーで得点。退水を守りきるもラスト 10 秒で 1 点成城が決めて 3 点差で第 3 ペリオドは終了。

#### 第 4 ペリオド

センターボールは東大。まず浪間が 1 点決める。さらに池亀がフローティングからキーパーが出てきたところをループで得点。梶原が退水を誘発し、シュートはハンドアップに当たったもののボールは梶原の目の前に落ち梶原が得点。浪間が退水を誘発し、池亀が決める。カウンターで成城も一点決めるが、浪間もドライブで決める。桐生が退水を誘発し梶原が決める。成城もミドルシュートを決めるもそのまま東大が逃げ切り 7 点差で試合終了。

普段とは異なるメンバーであったためうまくいかない場面もあったが、しっかりと順応して勝ち切れたのは良かったと思う。また、この試合では今まであまり出場機会の無かった初心者の一年生が長い時間出場することができたので、それもまた将来に繋がる良い経験となったと思う。

最後に、監督をしてくださった田丸さん、遠方まで応援に駆け付けてくださった只野さん、有吉さん、本当にありがとうございました。

(文責 藤目直也)